



令和五年度

俳句のまちあらかわ

フォト俳句コンテスト

受賞作品発表

松尾芭蕉や正岡子規など多くの俳句を詠み、区内各地に句碑が建立されている俳句ゆかりの地である荒川区は、「俳句のまちあらかわ」として、俳句文化の裾野を広げる活動に取り組んでいます。今回、この取り組みの一環として、「俳句」と「写真」を組み合わせた「俳句のまちあらかわフォト俳句コンテスト」期間／令和5年10月1日～令和6年1月12日を実施し、区内外から合わせて764句の素晴らしい作品が集まりました。ここでは、一般の部・こどもの部、課題写真の部（課題写真に対して俳句のみを募集）の受賞作品を発表します。

企画・制作／東京新聞広告局

主催／荒川区 後援／俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会

選者紹介



対馬 康子氏

俳人
現代俳句協会副会長
荒川区国際交流協会理事



堀田 季何氏

俳人
現代俳句協会理事
「楽園」主宰



佐々木 忠利氏

俳人
荒川区俳句連盟会長
荒川区文化総合講座俳句講師

こどもの部



きれいだな
夕日からきた
落葉だよ

荒川区立
第七峡田小学校四年
金澤花奈



北風を
松の木たえる
冬がさえ

荒川区立
瑞光小学校三年
実乃里



かれゴーヤ
冬まで生きた
しるしだよ

荒川区立
第七峡田小学校四年
金澤奈々



冬の朝
この木もきつと
ふるえてる

荒川区立
第七峡田小学校四年
金澤奈太



しもべしら
土をもち上げ
カもち

荒川区立
第七峡田小学校三年
山崎花衣



寒い日も
夕日を背負って
都電行く

荒川区立
瑞光小学校五年
翔太



妹の
辰で賑やか
鏡もち

荒川区立大門小学校六年
齋藤暁成

選評
新年の神様をお迎える鏡餅。妹が折ったちびつこの干支の竜も金屏風の
前にかわいらしく鎮座している。お餅より大きな重柑もご愛嬌。「賑やか」の
一言が家族で祝う新年の喜びを上手に表した。



黄色の葉
中には赤い
宝物

荒川区立第七峡田小学校四年
奥田諺依

選評
たくさんの黄葉の落葉の中に、たまたま紅葉の落葉を二枚見つけた。美しい
色合いの紅葉だ。それを「赤い宝物」と表現したのが素晴らしい。写真と
俳句が響きあっていて、フォト俳句コンテストの特選に相応しいと思う。



初日の出
未来を照らす
道しるべ

荒川区立大門小学校五年
及川ひより

選評
元旦の日の出を初日の出と言う。この最初の夜明けが「めでたい」とされ、多く
の人々が初日の出参りを行う。この初日の出は未来を照らす道標と言う。
未来と言う目に見えない夢や希望を照らす道標の詠詠が素晴らしい。

一般の部



おつかれと
君を労う
除夜の鐘

対馬 康子選



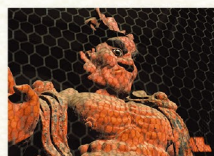
日暮里を
発ち終着は
冬銀河

遠藤玲奈



一月の
街彫り上げて
風が行く

堀田 季何選



寒晴や
胸筋誇り合ひ
仁王

山本半片



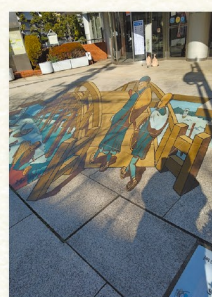
幾何学や
解けそで解けぬ
春の恋

佐々木 忠利選



六地藏
積もる落葉を
供花として

牧やすこ



三月や
芭蕉も曾良も
夢多し

齋藤寿美子

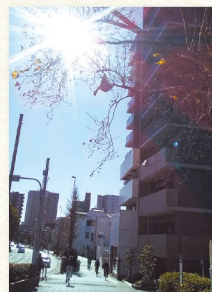
選評
元禄二年（一六八九）三月、芭蕉は曾良をお供に「おくのほそ道」へ旅立っ
た。見送る人にふり返りつつ大橋を渡って行く。「夢」に挑戦する芭蕉の心
が、春の日差しの中で今も私たちに語りかける。



初夢に
パンダ体幹
鍛えよと

すりも

選評
初夢に不思議なパンダが出て来て、驚くべきことに、ポディービルダーのよ
うな姿勢をとり、体幹を鍛えなさいと私に告げる……。写真のパンダ型遊
具からの発想が斬新。フォト俳句コンテストならではの醍醐味と言える。



木枯が
さらう些細な
自尊心

加那屋こあ

選評
初冬にかけて強く冷たい風が吹くが、木に残った枯葉は音を立て宙に舞
い、やがて地に還って行く。人もまた季節の移り変わりによって、一寸した事
でも自分自身の内面にある気持が揺れ動く様子を食指が動く。

佐々木 忠利選

佳作



初日の出
富士が吸いこむ
日の光

暁



もう冬か
遊んだ一年
思い出す

荒川区立
第四峡田小学校四年
小倉柚乃



イチヨウの水
青空ともに
かがやいた

荒川区立
第七峡田小学校四年
藤嶋優輝

堀田 季何選

佳作



夏の空
一本せんが
いっぱいだ

荒川区立
第七峡田小学校三年
小林歩



イチヨウの水
ひみつの小道で
光ってる

荒川区立
第四峡田小学校二年
吉田菜由



すみ田川
いい景色だね
いやしの場

荒川区立
瑞光小学校四年
アオイ

対馬 康子選

佳作



冬のバラ
都電に乗って
朝がきた

豊島区立
清和小学校四年
ゆきうさぎ



葉が落ちて
こごえていそうな
木々たちよ

荒川区立
第七峡田小学校四年
齋藤萌衣



春の朝
光さす町
荒川区

荒川区立
第七峡田小学校三年
黒山裕正

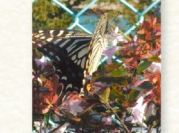
佐々木 忠利選

佳作



銀杏散る
庁舎の窓に
影残し

齋藤寿美子



秋蝶の
光る命や
はらはらと

茂木尚美



トリマーに
気持ち良さげや
小六月

田中礼子

堀田 季何選

佳作



石榴割け
争ひなして
無味な事

田中礼子



水底の
蠢く光
あたたかし

茂木尚美



風止んで
池に絵画の
春景色

浦井哲夫

対馬 康子選

佳作



雛のぞく
子の横顔の
大人びる

水幡忠文



凍空や
アルゴリズムの
ビル並ぶ

森川雅美



一途なる
紅葉流しの
川となり

小湊とぎく

課題写真の部入選



課題写真① 対馬 康子選

荒川二丁目停留場

区民に親しまれている都電荒川線の荒川二丁目停留場
では、4月上旬に美しい桜が咲き誇り、車窓からその桜を
眺めることができます。

春風やキャラメル箱のやうな駅
忘れもの探し都電の花の旅
二丁目の停車場花の雲一座
車窓へと花降る町に越しすした
行く春に赤い都電が立ち止まる

玉木たすね
まつちゃん
近江蓮花
二重格子
岩瀬百



課題写真② 堀田 季何選

荒川自然公園

三河島水再生センターの上に人工地盤を造って出来た
自然豊かな公園です。荒川区の形をした池があり、気持
ちよく散歩ができます。

白鳥帰る喃語増えたる子を抱く
飛ぶために白鳥は手を繋げない
荒川を慕い飛来の鶴かな
鹿校のごとく白鳥かたく閉づ
白鳥残るだつてさ寒い場所嫌い

加藤じやすみん
山田知明
小田穂藻
ぐ
えり花



課題写真③ 佐々木 忠利選

ジョイフル三の輪商店街

都電荒川線の三ノ輪橋停留場に隣接する商店街です。
数々のドラマ等のロケ地としても人気の昭和レトロ感が
魅力な商店街です。

餅花やゆれて華やぐアーケード
初売りの田移り続くレトロ街
年の瀬と余生楽しむ商店街
売初や都電降り立つ三ノ輪橋
薫風もレトロに染まる商店街

齋藤寿美子
高伸絹
三田忠彦
蒼栄
やすやす